

令和6年度 予算の概要

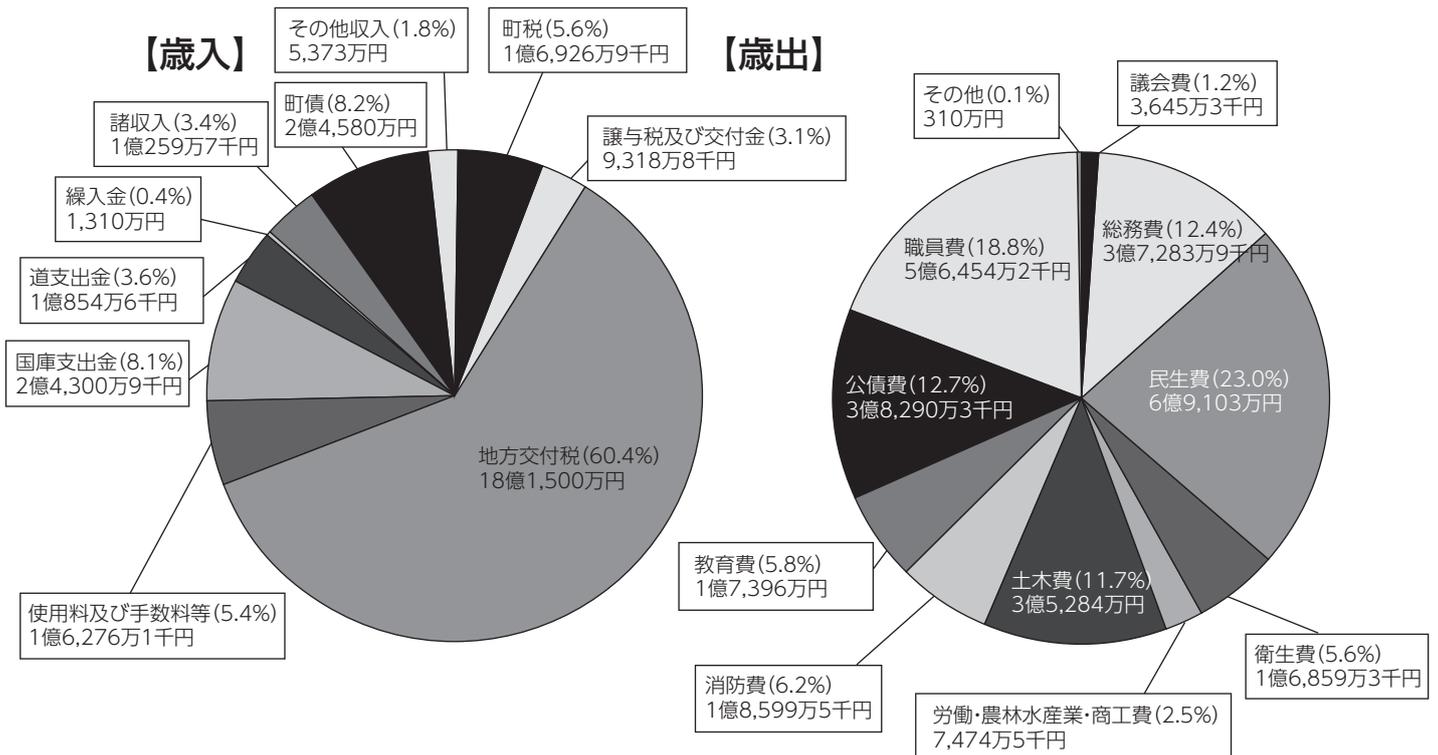
予算総額36億8,432万4千円

令和6年度の一般会計予算は、30億700万円となり、令和5年度の当初予算と比較すると1億400万円3.58%の増となりました。また、特別会計及び公営企業会計予算額の合計は、6億7,732万4千円となり、各会計を合わせた予算総額が36億8,432万4千円となります。

会計区分		令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	比較(%)
一般会計		30億700万円	29億300万円	3.58%
特別会計	国民健康保険特別会計	7,331万円	7,773万6千円	△5.69%
	後期高齢者医療特別会計	7,048万9千円	6,747万3千円	4.47%
公営企業会計	水道事業会計	3億8万2千円	2億8,019万3千円	7.10%
	下水道事業会計	2億3,344万3千円	1億4,245万円	63.88%
特別会計及び公営企業会計の合計		6億7,732万4千円	5億6,785万2千円	19.28%
合計		36億8,432万4千円	34億7,085万2千円	6.15%

一般会計 30億700万円

すべての世代が町の主人公として元気に充実した生活を送り、様々な場面で活躍することのできる施策をきめ細かく予算化し、ひとりでも多くの町民の希望や願いを実現できる町として、各種の支援を行うことのできる予算を作成しております。



令和6年度予算 主な事業内容

◆認定こども園・児童館ICT化

登降園システムを含むコドモンの機能を拡充し、保育記録や振り返りを一元管理し保育の質の向上につながる保育ドキュメンテーション機能などを付加したICT化による保育の見える化を推進します。



◆学校法人との提携及び単式学級維持のための教職員確保

道内学校法人との包括連携により、小学校の英語授業を担当してもらうほか、同法人の協力により教員を確保することで単式学級を維持し、小学校3年生以上では教科担任制を導入します。

◆消防ポンプ自動車の更新

各種災害時に効率的に対応できるよう、導入から30年が経過した消防ポンプ自動車（消防団車両）を軽量且つコンパクトな構造の4WD車両で自動揚水装置を備えた車両に更新し、消防団員の現場活動の負担軽減を図り、災害対応に万全を期していきます。



◆既設公営・改良住宅改善事業

定住促進のため、公営住宅の改善事業を行い、居住環境を整備します。

- ・公営・改良住宅修繕
- ・緑が丘公営住宅団地外装改善工事（1棟18戸）
- ・緑が丘団地除却事業（S48～50 5棟20戸）
- ・緑が丘団地屋根葺替工事（S57重ね 1棟8戸）
- ・下鶉身障住宅屋根葺替工事（S58, S60 2棟4戸）
- ・下鶉団地屋根葺替工事（S60重ね 1棟8戸）

◆カーボンニュートラル事業

地球温暖化対策実行計画に基づき、温室効果ガス排出量算定業務委託を行うとともに、朝駒、中町、本町、東山地区の街路灯をLEDに更新します。



◆悲別駅（旧上砂川駅舎） 保全改修工事

経年劣化が著しいことから、保全及び延命を図るため、大規模改修を行います。

